

二と「と」と
「絵」
「字」
「画」

空とりの私は 新らしい

情報とほしい

今が世の中が 少しわかるのは

商品の方々が かわるわろと思ってる

かたわら 見ていらすと

私に必要だと感じる

次の夏も 「そうだ 必要」と思う

そのように 思いあささせてくわって

説明と絵

感動しやあり 言葉と

おもしろいこと していいところ 絵

その言葉と絵は

どこかまで出てくるのか

かたわら 絵を 製作者だ

想像力を かき立てられる 「力」は

いつも使ってる 言葉とかわりない

作業者の頭の中は 言葉がはいりこまれている

いさよとほし

その商品がよさそう いう 長足の歩

言葉と字源

時折 うけとつに 逸品を

これだつて、といふことがあつたり

美術を見て

あこい、さすがに、と感心させられる

時々ある

美術を見ることは、そんなにはない

どうも、見て下さいます

と出されたものが、想像をこえてものか

どうか、ある意味おもしろい

想像する力をかき立てることには、絵は

日常の中にも

大きな力をもつている

2024
6/12